

《今号の内容》

- 1面 ラクロス全日本へ
- 2面 携帯電話意識調査
- 3面 スポーツ記者走る
- 4面 アメフトの悲願

神戸大学ニューズネット

NEWS NET

©神戸大学ニューズネット委員会
関西学生報道連盟共同編集室=〒532 大阪市淀川区西中島2-4-18-301 06(307)1315

どこよりも安く...がモットーです

■安心できる低価格
マッキントッシュの採用でムダを徹底的になくした結果の安心価格です。

■例えばこんなものをご用意下さい。
・パンフレット・部誌
・プログラム・新聞
・チラシ・チケットetc.

見取り依頼大歓迎!

印刷のスーパー
エディ
ムーゼン
箕面市桜井1-1-3
TEL 0727 (22) 9795

11月号

六甲祭出演ゲスト年表

| | | |
|-------|------|--------------------------|
| 1980年 | 第1回 | もんた&ブラザーズ |
| 1981年 | 第2回 | ハウンドドッグ |
| 1982年 | 第3回 | スターダストレビュー、大江千里ほか |
| 1983年 | 第4回 | 大江千里、伊藤さやかほか |
| 1984年 | 第5回 | 竹中直人、浪速エクスプレスほか |
| 1985年 | 第6回 | 本田美奈子ほか |
| 1986年 | 第7回 | 松本典子、島田奈美ほか |
| 1987年 | 第8回 | 長山洋子ほか |
| 1988年 | 第9回 | つみきみほ、有頂天 |
| 1989年 | 第10回 | 遊佐未森、村井麻里子ほか |
| 1990年 | 第11回 | PINK SAPPHIRE、東京少年、北野誠ほか |
| 1991年 | 第12回 | 谷村有美、横原敬之ほか |
| 1992年 | 第13回 | 寺田恵子 |
| 1993年 | 第14回 | 久宝留理子、ぜんじろうほか |
| 1994年 | 第15回 | 東野純直、辻仁成ほか |
| 1995年 | 第16回 | 鶴久政治ほか |

復興パワーだ!六甲祭開幕

テーマ『Heartquake復活の鼓動』

六甲祭企画一覧

| | |
|-----------------------------|----------------------|
| ●六甲台グラウンドメインステージ | |
| アマチュアバンドコンテスト | (土) 11:30-15:15 |
| クイズ選手権 | (日) 11:30-13:00 |
| ミス神大コンテスト | (日) 13:15-14:30 |
| 鶴久政治コンサート | (日) 15:30-17:00 |
| ●六甲台グラウンド | |
| ストリートバスケット3on3 | (土) 12:30-(日) 14:00- |
| ドッジボール | (日) 11:30-13:05 |
| 小動物園 | (土) 10:00-17:00 |
| ガレージセール | (土、日) 全日 |
| 巨大迷路 | (土、日) 全日 |
| ●企画チームステージ | |
| ファッションショー | (土) 15:00-15:30 |
| ぎゃんぶる入門白書 | (土) 15:30-17:00 |
| '95チャリティーオークション | (日) 14:00-15:30 |
| ●六甲台講堂 | |
| 軽音アカベラライブ | (土) 11:00-12:30 |
| 演劇 螺旋階段 | (土) 13:30- |
| はちの巣座 | (土) 17:30-(日) 16:30- |
| ヒサヤ納骨堂「大槻ケンヂの詩の世界」 | (日) 10:30-12:00 |
| サイキックバトルショー | (日) 12:30-14:00 |
| ●1102教室 | |
| 現代マスコミ講座 | (土) 12:00-14:10 |
| World of The Universe(字幕翻訳) | (日) 14:30-16:20 |
| Mr.レディートークショー | (土) 14:30-16:00 |
| ●1232教室 | |
| 映画「スピード」上映会 | (土、日) 9:00-16:00 |

三十九人の友を失った、あの震災から十か月。しかし、今年も六甲祭は、十一月十一日、十二日に盛大に開催されるはじりとなった。自衛隊の野営地だった六甲台グラウンドに、再びコンサートスペースが設けられ、今年も六甲祭のテーマは、『Heartquake』復活の鼓動。企画にも、震災にまつわるものがある。『現代マスコミ講座』マスコミの今を斬る(十一月一日正午・1102教室)は、ジャーナリストの大沼宏宏さんや、元難民避難所連絡会代表の戸嶋凡平さんを招いてのディスカッションだ。チャリティーオークション(十二日午後二時・企画ステージ)は、今年も震災復興基金にも寄付の予定だ。

このほか、新企画の小動物園コーナーも、子供たちの人気を呼びそう。蜂の巣座公演『ラ・ヴィータ』も期待できそうだ。

あいかわらず、模擬店は盛況。今年も、サークルやゼミから百四十二前後の店がたつ。

国際化学部には被災者の人達もまだ暮らしているという状況が続いているが、復興のパワーで例年にも増して力強い六甲祭が期待できそうだ。

プロコンゲスト鶴久政治に変更



意気揚がる部員(十月二十九日午後・緑地公園で)

男子ラクロス全日本へ

十二月十日から東京・江戸川で

神大男子ラクロスは、十月二十九日に行われた、関西学生ラクロスリーグの対同大戦で十四―一と勝利を収め、リーグ成績を五戦五勝とし、二位以上が確定。十二月の全日本ラクロス選手権への出場を決めた。試合後、選手たちはみな明るい表情。一ノ瀬監督(自然科学研究科・建設)は、「今年は日本一をねらっている。関西とのリーグ優勝争いは五年連続。なんとしても勝ち、リーグ優勝を果たしたい。」と話していた。また菅主将は、「スピーディーな展開をし、見に来たお客さんが楽しめる試合をしようと思うのでぜひ、応援に来てください。」と語りかけた。リーグ最終戦、神大対関学戦だが、十一月十九日長居陸上競技場で行われる。両チームとも全勝で、この最終戦で関西一が決まる。幾多の名勝負を繰り広げてきたこの対戦だが、今年も攻めの神大、守りの関学の激しいペース争いに目が離せないだろう。

「震災を考える」

第2回学内震災研究集会 被災地からの研究に目を向けて

十月三十一日、神大龍川記念学術交流会館で第二回神大兵庫東部地震研究集会が行われた。

情報ボランティアの活動を分析した国際化学部の大月一弘教授は「情報ネットワークシステムは利用者が少ないこと、被災者で見ている人がほとんどいなかったことなどの理由で、実際には注目されたほどの役割を果たさなかった」と報告した。また、法学部の久米郎男教授は、県市町の課長職員にアンケート調査を行い、震災後の職員の行動や住民との関係、関係団体との協力実態について調べた。それにより、避難所やボランティアとの接触は県よりむしろ市町の方が積極的であったことがわかった。

三時間半にわたる研究会だったが、約百人の参加者のうち、ほとんどが教職員で学生の姿はまばらだった。



(十一月四日撮影)

こたつ囲み冬支度 国文体育館待機所の3世帯

十一月一日現在、国文の体育館には三世帯の避難者が暮らす。こたつが中央に置いてあり、体育館も冬支度だ。出て行きたくても近くの仮設に人が集中し、簡単にはいきそうもない。代表の柳原さんは「早く出て行けと言っているなら大学にも後押ししてもらわないと。子供もせんそくがあり環境のいい仮設がいい。わたしにも家族を守る義務がある。」と堅い決意だ。

隣の第一体育館ではバスケット部が練習中。大学側が被災者とはちあわせられないよう

中央の入り口から出入りしている。キャブテンは「反対の入り口から出入りする不便はありますが、第一体育館が使えれば特に影響はないですよ。」と話す。

求む!

今やっているサークルが自分にあわない。今から新しくサークルに入りたい。もっと友達が増えたい。思っています。

創刊2号の「ニューズネット」です。

9大学の加盟する関西学生報道連盟のネットワーク情報も盛り込んだ紙面です。またサークルなのでスタッフが不足しています。文化記者、運動記者、写真部員、広報部員を募集します。

お問い合わせは松田(文・四年) 07818221374まで

神戸大学ニューズネット委員会

伏流水

十月末、学生震災救援隊と総合ボランティアセンターの公開討論会をのぞいてみた。▼情報発信、イベント実施、組織確立といういろいろなアプローチがある。結論の出る討論ではもちろんない。組織を維持するには多くの学生に参加してほしい。一方、実りある活動には打ち込める人材が必要だ。代表者の悩みには同感。

▼「非常組織は、よき意図をもってよいことをしたい」というだけでは十分ではない。成果を上げ、この世に存在をもちたすために存在している」とP.F.ドラッカーは「非常組織の『自己評価手法』」の中で語っている。▼スポーツの結果は、企業利益のように、結果のほっきりしない組織は大学の中にも多い。難しいとあきらめず、自分のしたいことをじっくり問い直して、存在意義を深めたい。

西塚学長が独賞を受賞
西塚泰美学長が、基礎科学の優れた研究者に贈られる独エルンスト・シーリング賞を受賞。九月二十一日、プラハの授賞式に出席。日本人としては初の受賞。

1部見えた!アメフット2部で優勝

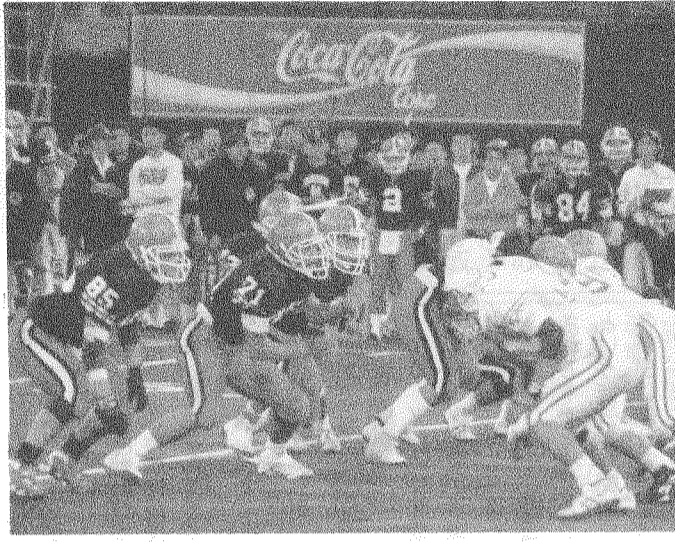
入れ替え前哨戦で中京大とまず対戦

今月二十六日に西宮決戦

十一月四日、目下五勝全勝の神大のDIVISION II Aフットボール(二部Aフットボール)優勝が決まった。大経大・関西外大戦が引き分けとなり、両者とも三勝一敗一分となったためだ。

このあと、まず入れ替え戦出場決定戦(十一月二十六日十三時五十分・西宮球技場)で東海代表の中京大

と対戦。これに勝ち、ようやく一部リーグの7位チームとの入れ替え戦(十二月十日十三時五十分・西宮球技場)に臨める。ここでさらに勝って悲願の一部復帰が決まる。一部では現在同大と京産大の7位、8位争いが続いている。手こわい相手だけに、一部復帰はまだ予断を許さない状況だ。



神大は大経大、関西外大との競り合いを抜け出し優勝。十月二十九日の対大経大戦(西宮スタジアムで撮影・里田明美)

裏方に徹する四年生

練習方法を一変するほど、去年の二部落ちが大きなきョックだったレイバンス。四年生は、下級生が練習に専念できるように、この一年はグラウンド整備や水まき、ビデオ撮りといった裏方に徹してきた。上級生の力で返り咲くより、後輩を育ててずっと一部を維持できるチーム作りを一大決心。四年生二十八人は、いわば捨て石として働いてきた。

「一部復帰に賭け、卒業単位をとっていない四年生

試合で、ディフェンスのしまりなさが露見。対大経大戦(十月七日・西宮ST)では37対7。パスを多用せずランだけの試合を試みたが、パスの完成は一刻も早く望まれる。対神院大戦(十月二十八日・長居球技場)も41対10で勝ち。逆にパスだけの試合を考えたが、今一つ。

残り試合は対追手門学院大学戦(十一月十一日十六時三十分・阪急西宮スタジアム)だけ。全勝で優勝に花を添えたい。

スコアボード

- 近畿学生野球リーグ一部 (十一月五日・日生)
 - 一位 阪南大 十勝二敗二分
 - 二位 奈産大 八勝二敗一分
 - 三位 神大 五勝七敗
 - 四位 大市大 五勝七敗
 - 五位 大工大 四勝三敗
 - 六位 大教大 二勝八敗
- 関西学生ホッケーリーグ (十一月七日・親里)
 - 一位 天理大 七勝
 - 二位 立命大 六勝一敗
- 関西六大学秋季ソフトテニスリーグ戦
 - 一位 同大 五勝
 - 二位 関学 四勝一敗
 - 三位 立命大 三勝二敗
 - 四位 関大 二勝三敗
 - 五位 神大 一勝四敗
- ▽女子最終成績
 - 一位 関学 五勝
 - 二位 関大 四勝一敗
 - 三位 立命大 三勝二敗
 - 四位 同女 一勝四敗
 - 五位 神大 一勝四敗

県大会3位 日本拳法部 二十六日には日本学生選手権出場

「日本拳法名は聞いたことがあるが、実際にどういった格闘技か知らないという人は多い。どういふものなのだろうか。簡単にいえば、何でもありの総合格闘技である。防具に打撃がきれいに入る、もしくは投げ技の後、防具に打撃を入れると一本になる。自由なスタイルででき、大会ではボクサーから柔道まで多種の型の対戦が見られ面白い。現在、神大では、十二人の猛者が日本拳法に汗を流す。先日行われた兵庫県大会では、見事三位に輝いた。二十六日に大阪府立体育館で日本学生拳法選手権に、ぜひ応援に行こう。

全日本学生総合で健闘、馬術部

六年振り 凌雲号二度目の完走

十月三十一日から十一月五日、東京の馬事公苑で行われた全日本学生馬術大会に神大から二頭が出場した。障害、馬場、総合の三部門のうち、馬場馬術に出る予定だったエトランゼ号は当日朝になって、跛行(は

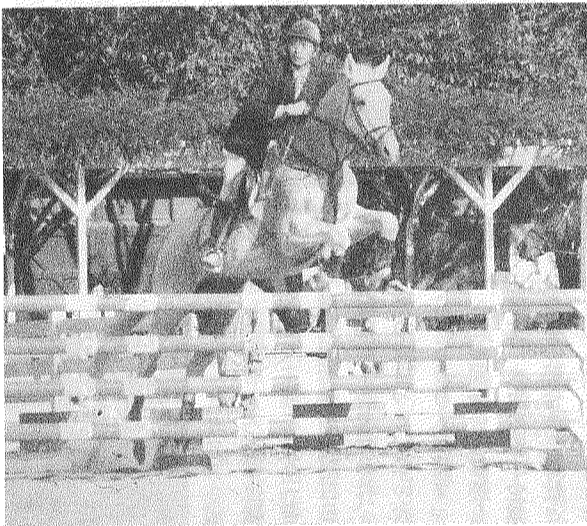
こう・筋肉痛)がひどくなり棄権。残念そうな騎手の前谷順子さん(教・四)だったが、「年寄りの馬なので、ある程度の覚悟をもって臨んでいた」と主務の中山鉄平さん(発・三)。

総合馬術には凌雲号が三

つの審査(調教耐久余力)を無事終え完走。凌雲号の全国出場は八九年以来二度目。関西勢の馬は約半数が失格することもあり、騎手の道下(どうげ)謙太郎さん(工・三)は満足げだった。

全国約三十三大学から二百

数十頭の馬が集まった大会。最終日は日曜日とあって、家族連れの観戦が目立ち、馬が障害の前で立ち止まったり、横にそれたりした後、騎手が再挑戦してハードルを飛び越えると観覧席から拍手がわきまわった。



道下謙太郎選手の凌雲号は総合馬術を無事完走した。(東京・馬事公苑で十一月五日・高杉健太郎撮影)

●神大自由劇場十一月公演
ラ・フェスタ 95
日時 11月23日、25日午後一時半、午後五時、24日午後五時半、26日午後一時、場所 神大六甲台講堂、料金 前売四百円、当日五百円、問合せ 078-802-9816

耳をすませば・・・
年中サービス価格

VIDEO PLAZA

新作オール400円!

ビデオプラザ なた

灘区水道筋5丁目1-4

『震災追悼特集』原稿募集のお知らせ

『神戸大学ニュースネット』では、一月十七日発行予定の1月号で『阪神大震災追悼特集』を組みます。亡くなった方の追悼記、ボランティアの記録、皆さんの地震体験などをお寄せください。

- 募集原稿
 1. 学生、教職員の追悼記
 2. ボランティアの記録
 3. 地震の体験記など
- 応募規程

六百字以内。ワープロ、手書き可。写真やイラストも添えてください。住所、氏名、年齢(学部、学年)電話番号、下宿生は実家の電話番号も明記してください。原稿はコピーをとってお送りください。
- 応募資格

神戸大学の学生、卒業生、教職員、その家族、関係者など。
- 応募先

〒658 神戸市東灘区御影石町4-13-303 FAX078-822-3774
神大ニュースネット副編集長 松田晃政(文・四年)
- 締め切り

一九九五年十二月十七日(必着)
- 問合せ先

TEL078-822-3774(松田)